

永山フェスティバル

多摩オペラ研究会

オペラアンサンブル



2023年9月24日（日）

12:30～13:00

永山公民館 ベルブホール

町田シティオペラ協会加盟団体

多摩オペラ研究会は「観るオペラから演じるオペラへ」を合言葉に

オペラを愛してやまない仲間が集まり、勉強している会です。

日頃の練習成果を発揮できるよう、一生懸命…歌い演じますので応援して頂けたら幸いです。

~~~~~  
指導・指揮 佐野千春 / ピアノ 鈴木架哉子

メンバー 石岡華織 石上厚子 伊藤美穂 弘法路夫

長澤真琴 長野美恵 堀田晶子 山崎雅子  
~~~~~

プログラム

オペラ「フィガロの結婚」より モーツァルト
スペインの大貴族のお屋敷で繰り広げられる狂騒の1日。

1 喧嘩の二重唱 ～さあ、そちら様がどうぞ～

女中スザンナはフィガロと婚約中です。結婚式当日の朝、フィガロを諦めきれない女中頭マルチェリーナとの間でバトルが勃発。「この年増女！」の一言がバトルの勝敗を決めます。

2 何たること、直ちに行つて

あろうことに結婚式の日スザンナを口説こうとする伯爵、そこへ音楽教師が現れて噂話をするものだから、隠れていた伯爵が怒り出し、大変な状況に気絶しそうなスザンナ。そして更に悪いことに小姓のケルビーノまでが椅子に隠れているのが見つかります。三者三様の思惑が入り乱れて大混乱の場面です。

3 手紙の二重唱 ～そよ風に寄せる唄～

伯爵夫人とスザンナが浮気者の伯爵を懲らしめようとニセの手紙を書く場面です。「松の木の下でお待ちしております」と、そこは皆が知っている逢引の場所のことなのでした。

プログラム

4 オペラ「ホフマン物語」より オッフェンバック ホフマンの舟歌

どんなオペラか知らなくても聞き覚えのある有名な曲です。詩人のホフマンが酒場で過去の恋物語を語ります。男の影を奪うジュリエッタとの出会いの場面。ホフマンの親友でもあるニクラウスと共に歌います。

5 オペラ「ウインザーの陽気な女房達」より ニコライ 愛しのフェントン

アンナという若い娘が親に結婚を反対されている恋人と歌う、切なくもちょっとコミカルな愛の二重唱です。

6 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」より フンパーディンク 眠りの精の歌～お祈りの歌

皆さんよくご存知のグリム童話を題材にしたオペラです。兄妹が野イチゴを摘みに森の中へ入って行くと、辺りは暗くなり・・・どこともなく眠りの精が現れ、いつの間にか2人はぐっすり眠りにつきます。

7 オペラ「魔笛」より モーツァルト パパパ

鳥刺しのパパゲーノが恋人を探していると、自分と同じ鳥刺しの娘パパゲーナが現れます。「子どもをたくさん産んで幸せになろうね」・・・ついに伴侶を見つけた2人の喜びあふれる二重唱です。

本日は永山フェスティバルにお越しくださいまして、誠にありがとうございました。次回は12月2日(土)南大沢文化会館交流ホールでお待ちしております。詳しくはチラシをご覧ください。